専門教育科目　講義科目

科目名：	FPのための不動産運用	科目コード	EH60
		単位	2
科目主査：	佐藤 益弘　　担当講師： 佐藤 益弘	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

一個人が不動産の取引を経験する機会はそれほど多くない。ただ、高額になるケースが多く、人生設計上大きな影響を受けることから、慎重さが要求される。また、不動産の取り扱いについては多くの法律や規制があり、改正も行われている。一定の専門知識も必要となる。 また、年々値上がりしている物件がある反面、空き家など値段が付かないような物件に二極分化している状況である。
本科目では、人生において不動産という資産を適切に対処するため、不動産に関する各種法律および税務の知識を身につけ、投資や有効活用に役立つための知識を得ることを目的とする。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	日々のニュースの中で「住宅」「土地」「不動産」に関わると思える点に注目しておいてください。 また、テキストは完全に理解できなくとも、専門用語等に慣れるため、一読しておいてください。	
テキスト	『2級FP技能士（AFP）試験対策　不動産 基本テキスト』TAC株式会社,最新版	

この科目の 到達目標	①不動産価格（評価）、不動産関連法律及び税務の基礎的知識、不動産の投資や有効活用方法について説明することができる。 ②事例を基に、税法、都市計画法、建築基準法に基づく計算や、不動産運用の問題点の把握と解決策の提案ができる。
成績評価 の 方 法	1日目の課題および２日目の最終試験で評価します。きちんと授業を聞くようにしましょう。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	時代の変化とともに「不動産」を取り巻く環境も変化しています。そのような中、不動産関連のルール（法律）や税制も改正されています。本講義で学んだことはあくまでベース＝スタートラインなので、ことあるごとに新聞などで環境の変化を確認し、実生活で役立てるようにして欲しいです。
事後学習の 参考文献	昨今の不動産を取り巻く情勢や最新の話題を入手するには、日本経済新聞や日本FP協会のHPの参照をお薦めます。状況だけでなく、その背景なども理解することは非常に大切です。 資格試験受験のための教材については、WEBで過去問を確認し、不明な点はテキストなどと照らし合わせ確認してください。

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑電卓 ☑カメラ・マイクは必須となります。